



ヤングコーナー

冬のオススメ本紹介



YA担当より

寒い季節がやってきましたね。こんな寒い日には、お家でまったりと読書をしながらか過すのもいいですね。ヤングコーナーには他にもさまざまな分野を取りそろえているので、ぜひ手にとってみてくださいね。

①

『美術館って、おもしろい！』

展示会のつくりかた、働く人たち、美術館の歴史、裏も表もすべてわかる本』

モラヴィア美術館／著
阿部 賢一 須藤 輝彦／訳
河出書房新社
YA書架 706ビ



美術館って、知識がないと楽しめない、芸術に興味がないから退屈。そんなふうに思っていないですか？

では美術館に、ただの散らかったベッドが展示されていたらどうでしょう。ちょっとびっくりしませんか。じつは、美術館に展示されると、どんなものでも芸術作品になってしまうのです。

不思議な場所ですよ、美術館。この本は、美術ではなく美術館にスポットを当てた珍しい本です。なかなか奥が深いですよ。

②

『天才ルーシーの計算ちがい』

ステイシー・マカナルティ／著
田中 奈津子／訳
講談社
YA書架 933マ



ルーシーは、8歳の時に雷に打たれて、数学の天才になってしまいました。12歳になって、大学まで飛び級できることになったけど、おばあちゃんから「中学へ1年間通って友だちを1人作りなさい」と言われてしまって…。

突然中学へ通うことになったルーシーは、友だちをつくっておばあちゃんの課題をクリアできるのでしょうか。



③

『オオカミの時間』

今そこにある不思議集』

三田村 信行／著
佐々木 マキ／画
理論社
YA書架 913ミ



短編12篇と中編2篇で構成された1冊。日常世界を描いているようで、不思議な世界へと入り込んでいく作品集です。この不思議な世界を紡ぎ出した作者は、「キャベたまたんてい」シリーズなど多くの作品を書いています。小学校中学年向けの作品とは雰囲気の違い、ちょっとドキッとさせる作品を読むことができますよ。



④

『子ども・大人』

野上 暁／文 ひこ・田中／文
ヨシタケ シンスケ／絵
大月書店
YA書架 Eヨ



子どもと大人の違いを考えたことはありますか？

早く大人になりたいと思う時もあるのではないのでしょうか。

読んでみると「そうそう」「あるある」と思わず言いたくなります。

子どもは、いずれ大人になります。でも、大人は子どもに戻ることができません。子どもと大人の違いについてあらためて考えてみてはいかがでしょうか。



⑤

『フェイクニュースがあふれる世界に生きる君たちへ』

森 達也／著
ミツイパブリッシング
YA書架 361モ

毎日目にするニュースですが、中にはウソの情報を流すフェイクニュースも多くあり、フェイクニュースを本物のニュースと勘違いしてしまう人も多くいます。テレビ番組などのメディアはどのようにして情報を生み出しているのか。そして情報の海の中でどのようにして情報を選択し生きていくのか、そのヒントがたくさん書かれています。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。

